資料２

いの町地域公共交通総合連携計画策定業務

住民ニーズ調査　計画書（案）

平成２１年９月２日

目　次

□ 住民ニーズ調査の体系 1

1. 町民移動調査 4

1.1 調査目的 4
1.2 調査の枠組み 4
1.3 調査の実施概要 5

2. 地域代表へのヒアリング調査 8

2.1 調査目的 8
2.2 調査の枠組み 8
2.3 調査の実施概要 9

3. 公共交通利用者実態アンケート調査 10

3.1 路線バス等利用者調査 10
3.2 町営バス等利用者調査 12

□ 住民ニーズ調査の概要総括 14

□ 実態調査スケジュール 15

○ 資料－１：いの町バス路線図 16

○ 資料－２：第３回高知都市圏パーソントリップ調査（H19 実態調査）　調査票（平日） 17

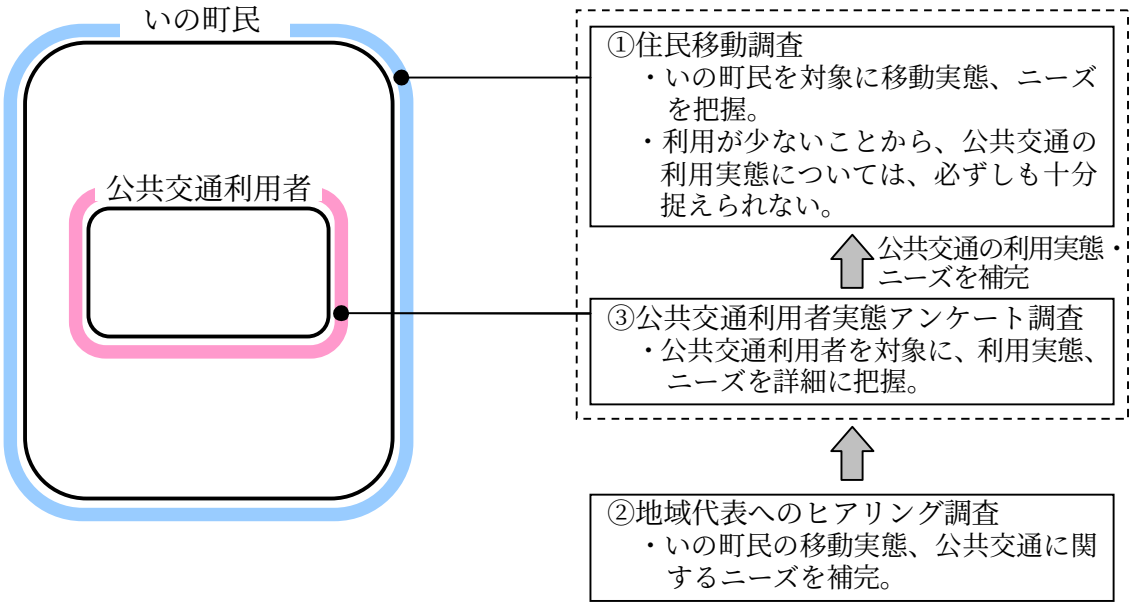
□　住民ニーズ調査の体系

いの町地域公共交通総合連携計画策定のための情報収集を目的に、住民ニーズ調査を実施する。
計画策定に向けて必要となる情報を踏まえ、アンケート調査の体系を次頁のとおりとする。
調査体系の基本的考え方は以下のとおりである。

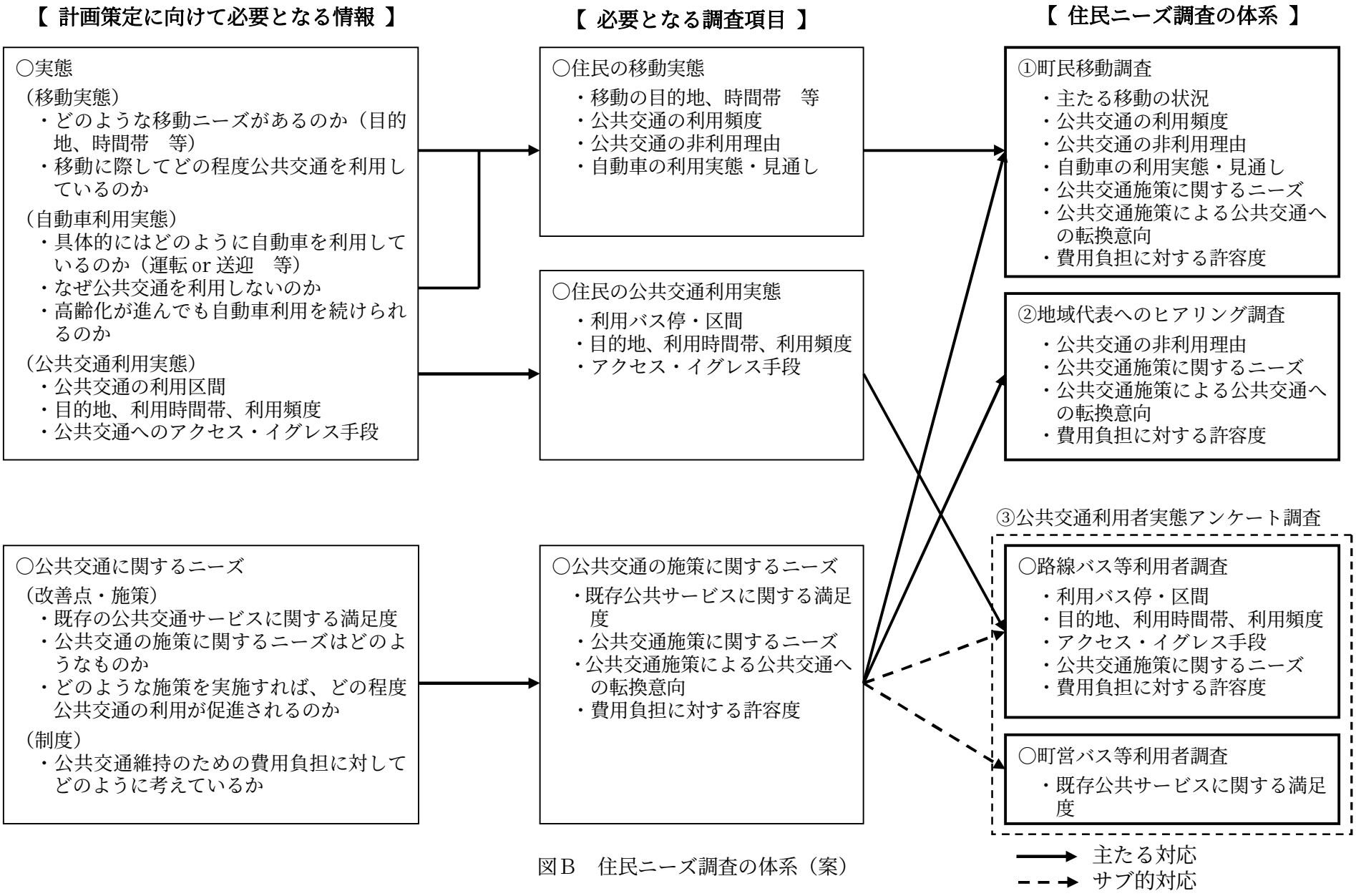
また、地域公共交通の整備方針イメージを次々頁に示す。

【 住民ニーズ調査の基本的考え方 】

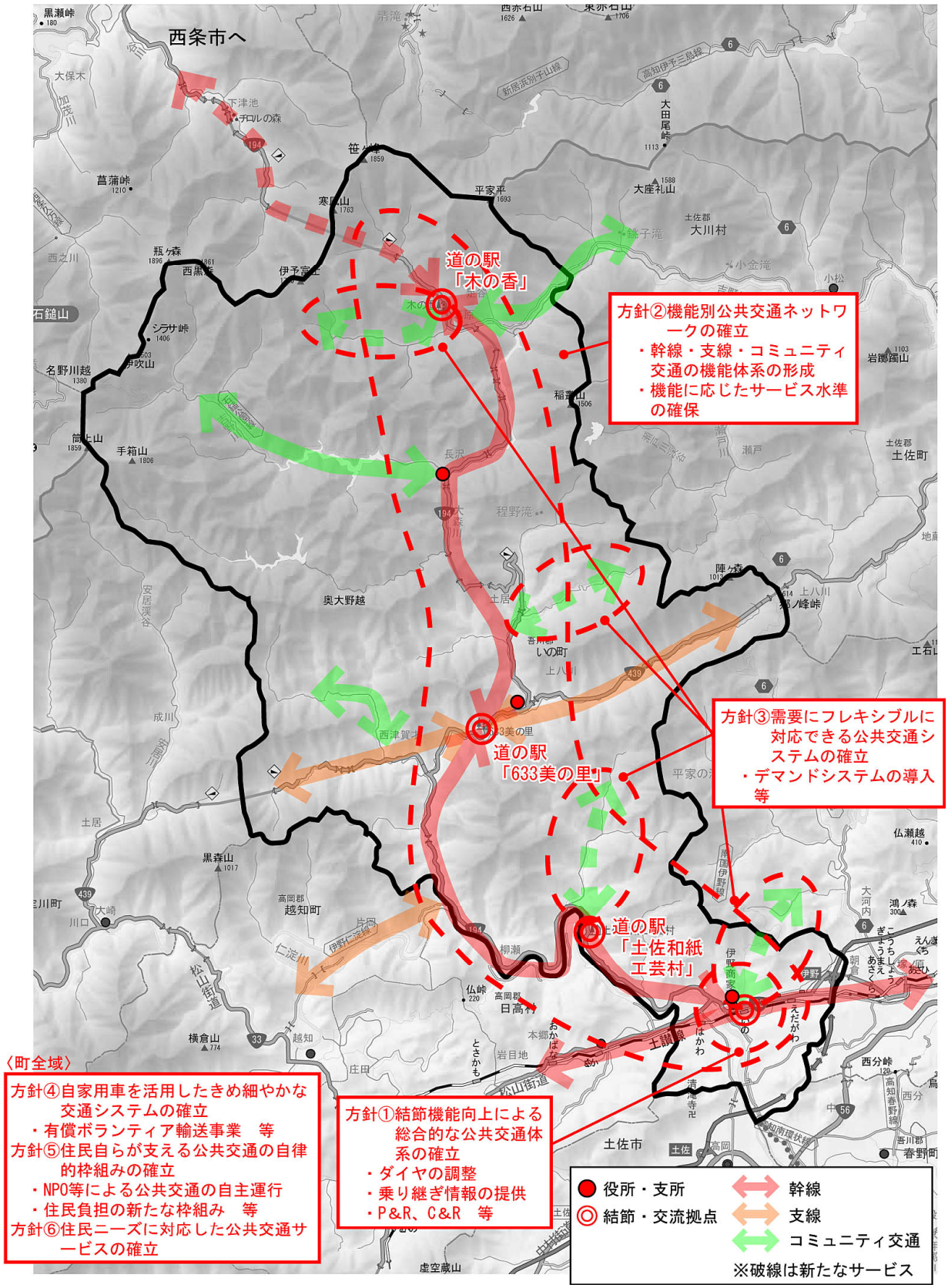
①いの町民を対象としたアンケート調査により、移動の実態を把握し、その中で地域の移動手段における公共交通の位置づけを明確にするとともに、高齢者等のモビリティ確保、自動車から公共交通への転換に向けた施策検討のため、住民ニーズの把握を行う。
②地域代表（自治会長、NPO 等）へのヒアリング調査により、高齢者等のモビリティ確保、公共交通の利用促進に向けた施策検討のため、地域ニーズの把握を行う。
③路線バス等（路線バス・路面電車・ＪＲ）の利用者を対象にアンケート調査を実施し、公共交通の利用実態を把握し、利用特性、区間ごとの需要を明確にするとともに、さらなるサービス改善に向けた施策検討のため、利用者ニーズの把握を行う。
また、町営バス等（町営バス・デマンド式乗合タクシー・スクールバス）の利用者を対象に、既存の公共交通サービスに対する満足度、改善点を把握する。



図Ａ　各調査の対象領域の概念図（案）



図Ｂ　住民ニーズ調査の体系（案）



図C　いの町における地域公共交通の整備方針イメージ

1．町民移動調査

1.1　調査目的

いの町民の移動実態、公共交通サービスに関するニーズの把握を目的に、住民を対象としたアンケート調査を実施する。

1.2　調査の枠組み

（1）調査対象

いの町は、南東部の都市部（平地・丘陵地）と中山間地域に分類される。伊野地区には都市部と中山間地域があり、吾北地区、本川地区はすべてが中山間地域となっている。

町民移動調査の調査対象については、以下のような理由から中山間地域（伊野地区の中山間地域、吾北地区の全域、本川地区の全域）の住民とする。

○主たる検討対象は、中山間地の公共交通の維持・活性化のあり方であり、そのためには中山間地域の住民の移動実態を具体的に把握する必要がある。

また、施策ニーズ及び各施策による自動車から公共交通への転換意向についても、把握したい主たる対象は中山間地域である。

○伊野地区については、第３回高知都市圏パーソントリップ調査（H19 実態調査）の調査圏域であり、交通実態（ある一日（平日・休日）の動き）については、詳細に把握されている。

※巻末の資料－２に第３回高知都市圏パーソントリップ調査の調査票を示す。

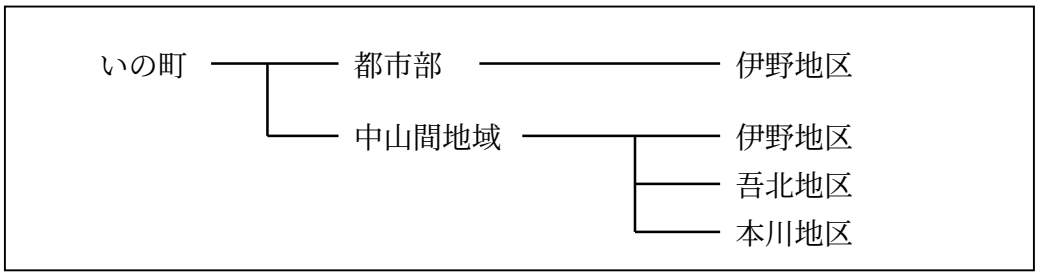


図 1.1　いの町の地域分類

表 1.1　地区別人口・世帯数

		人口（人）	世帯数（戸）
伊野地区	都市部	16,548	6,848
	中山間地域	6,760	2,538
	小計	23,308	9,386
吾北地区		3,073	1,399
本川地区		644	331
いの町計		27,025	11,116

資料：国勢調査（H17）

（2）調査の視点

以下の２点を視点に調査を実施する。

【 調査の視点 】

○中山間地域の住民の移動実態を把握するとともに、その中で公共交通が果たす役割、住民生活における位置づけ等を明確にする。

○高齢者等のモビリティ確保、自動車から公共交通への転換に向けた施策検討のため、住民ニーズを把握する。

1.3　調査の実施概要

（1）調査規模・方法

町民移動調査の規模・方法については、自治会長の協力を得ることを前提に、以下のとおりとする。

表 1.2　町民移動調査の規模・方法（案）

区　分	概　　要	備　　考
調査対象	中山間地域の住民	―
調査規模	配布数：2,000 ・伊野地区（中山間地域）：800 ・吾北地区　　：700 ・本川地区　　：500	サンプル抽出は町が実施
調査方法	町広報誌に合わせて配布、自治会長を通じて回収 ※自治会長の協力を得られない地区は、郵送回収	地域代表者へのヒアリングにおいて、自治会長の協力を要請

なお、調査規模については、以下の算出式による地区ごとの必要サンプル数と自治会長の協力を前提に想定した回収率に基づき算出した、必要配布数約 1,900（合計）を切り上げる形で 2,000 とした。

標本数を決定するための公式

[母比率を推定したいとき]

$$n = \frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{K(\alpha)}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

ただし，α＝母集団特性値の推定を誤る確率（%），

100－α＝信頼度（%），

K（α）＝正規分布の性質から与えられる値，

N＝母集団の大きさ，　　n＝必要とされる標本数，

P＝母比率（%）

ε＝区間推定で標本特性値につけるプラスマイナスの幅

資料：アンケート調査の方法（辻新六・有馬昌宏著，朝倉書店，1987）

表 1.3　必要配布数算出根拠

	伊野地区(中山間)	吾北地区	本川地区	合計	備考
K(α)	1.96	1.96	1.96		
N(人口)	6,760	3,073	644	10,477	
ε	5	5	5		
必要サンプル数(人口:n)	364	342	241	946	
回収率	50%	50%	50%		自治会長の協力が前提
必要配布数(人口)	727	683	482	1,892	

（2）調査項目

町民移動調査のアンケート項目を次頁のとおりとする。

表 1.4　町民移動調査のアンケート項目（案）

区　分	調査のねらい	アンケート項目	備　　考
個人属性	・個人属性、世帯構成の把握	○個人属性 ・性・年齢、職業、家族構成、住所	―
	・自動車利用環境の把握	○自動車保有状況 ・免許の有無、自動車保有状況	
移動実態	・どのような移動が多いか把握 ・公共交通がどの程度利用されているか把握	○普段の移動状況 ・普段の主な移動 ・上記移動の目的、目的地・施設、利用交通手段・利用理由、頻度、時間帯	初めに主な移動を回答してもらい、その後移動ごとに質問
	・公共交通の問題点と公共交通利用への転換可能性を把握	○公共交通非利用の理由 ・公共交通を利用しない理由	
	・自動車の利用形態と今後の見通しを把握	○自動車利用の移動状況 ・自動車利用の具体的形態（自分で運転 or 家族が送迎 or 近隣の知人が運転　等） ・自動車による移動の継続性（今後の見通し）	
公共交通の施策に関するニーズ	・公共交通の改善点を把握	○公共交通の問題点 ・現況サービスに対する項目別満足度 ・バス交通の改善点 ・新たに望まれる公共交通サービス	―
	・各施策の効果と公共交通の利用促進の可能性を把握	○公共交通への転換意向 ・施策ごとの公共交通利用への転換意向	施策ごとに転換可能性を質問
	・費用負担に対する許容度を把握	○費用負担 ・公共交通の必要性 ・住民負担に対する許容度	許容度については、支払意志額を質問

2．地域代表へのヒアリング調査

2.1　調査目的

いの町民の公共交通サービスに関するニーズの把握を目的に、地域代表を対象としたヒアリング調査を実施する。

2.2　調査の枠組み

（1）調査対象

町民移動調査同様に、中山間地域を対象とする。

ヒアリング対象は以下のとおりであり、地域代表を自治会長とし、さらに地域公共交通運営のためのリーダー育成を目的に、NPO 等にも参加を募る。

【 ヒアリング調査の対象 】

・地域代表：自治会長（82 地区）

・NPO 等　：NPO 高知市民会議、いの町グリーンツーリズム研究会、１９４元気塾、バーチャル本川村　等

表 2.1　中山間地域の行政区数

地　　区	行政区数 （自治会）
伊野地区 （中山間地域）	35
吾北地区	49
本川地区	14
計	98（82）

（2）調査の視点

以下の点を視点にヒアリングを実施する。

【 調査の視点 】

○高齢者等のモビリティ確保、公共交通利用促進に向けた施策検討のため、住民ニーズを把握する。

2.3　調査の実施概要

（1）調査方法

地域代表者へのヒアリングはワークショップ形式とし、以下の方法で実施する。

表 2.2　地域代表へのヒアリング方法（案）

区　分	概　　要
ヒアリング対象のグルーピング	・伊野、吾北、本川の各地区の自治会長を 10 人程度のグループに分割 （伊野地区：３グループ、吾北：５グループ、本川：２グループ） ・NPO 等からの参加者を上記グループに分配
ヒアリング実施体制	・全体の進行担当を配置 ・上記各グループに進行担当、記録係を配置
会場	いの町内の会場１箇所で実施 ※大きな会場が確保できない場合、会場を２～３箇所に分割

（2）調査項目

地域代表へのヒアリング調査のヒアリング項目を以下のとおりとする。

表 2.3　地域代表へのヒアリング調査のヒアリング項目（案）

区　分	調査のねらい	ヒアリング項目
移動実態	・中山間地域の住民の移動状況を把握 ・公共交通がどの程度利用されているか把握	移動における交通手段としては、何がよく利用されているか？
	・公共交通の問題点と公共交通利用への転換可能性を把握	なぜ公共交通は利用されないか？
	・自動車の利用形態と今後の見通しを把握	どのように自動車を利用しているのか？ 自分で運転？ 送迎？ さらに高齢化が進んでも、自動車利用は続くか？ 高齢化が進んだ場合、どのような問題が深刻化するか？
公共交通の施策に関するニーズ	・バス交通の改善点を把握	バス交通の問題点及び改善点は？ 新たに望まれる公共交通サービスとして、どのようなものが考えられるか？

3．公共交通利用者実態アンケート調査

3.1　路線バス等利用者調査

（1）調査目的

公共交通の利用実態、利用者ニーズの把握を目的に、公共交通利用者を対象としたアンケート調査を実施する。

（2）調査の枠組み

1）調査対象

主たる調査対象地域である中山間地域と都市部を区分し、調査対象を以下のとおりとする。

表 3.1　路線バス等利用者調査の対象

対象地域	調査対象交通機関	調査対象者
中山間地域	伊野駅以北を運行する廃止代替バス	バス利用者
都市部	ＪＲ伊野駅、土佐電鉄伊野駅、駅前バス停	各駅・バス停利用者

2）調査の視点

以下の２点を視点に調査を実施する。

【 調査の視点 】

〇公共交通の利用実態を把握するとともに、利用特性、区間ごとの需要等を明確にする。

〇公共交通のサービス改善に向けた施策検討のため、住民ニーズを把握する。

（3）調査の実施概要

1）調査規模・方法

路線バス等利用者調査の規模・方法については、以下のとおりとする。

表 3.2　路線バス等利用者調査の規模・方法（案）

区　分	中山間地域	都市部
調査対象	伊野駅以北の廃止代替バス利用者	ＪＲ伊野駅、土佐電鉄伊野・伊野駅前、駅前バス停利用者
調査規模	全便（県交北部交通、嶺北観光自動車）	ＪＲ伊野駅：約 450 人 土佐電鉄伊野・伊野駅前：約 150 人 駅前バス停：約 50 人
調査方法	・バス車両に乗り込み聞き取り ・バス停別の乗降者数をカウント	・各駅・バス停で乗降者に手渡し配布・郵送回収

2）調査項目

路線バス等利用者調査のアンケート項目を以下のとおりとする。

表 3.3　路線バス等利用調査のアンケート項目（案）

区　分	調査のねらい	アンケート項目
個人属性	・個人属性の把握	○個人属性 ・性・年齢、職業、住所
	・自動車利用環境の把握	○自動車保有状況 ・免許保有の有無、自動車保有状況
移動実態	・調査時の移動について把握	○移動実態 ・調査時の移動の目的、ＯＤ、発・着時間、アクセス・イグレス手段、時間 ・調査時の利用手段利用理由 ・乗降バス停（伊野駅以北のバスのみ）
	・公共交通への依存度を把握	○普段の移動手段 ・調査時の移動における代替交通手段の有無 ・普段の移動での交通手段
公共交通の施策に関するニーズ	・公共交通の改善点を把握	○公共交通の問題点 ・調査時利用路線に対する項目別満足度 ・調査時利用手段の改善点（ex. バス利用者はバス全般） ・新たに望まれる公共交通サービス
	・費用負担に対する許容度を把握	○費用負担 ・公共交通の必要性 ・住民負担に対する許容度

3.2　町営バス等利用者調査

（1）調査目的

既存の公共交通サービスの満足度の把握を目的に、既存の公共交通利用者を対象としたアンケート調査を実施する。

（2）調査の枠組み

1）調査対象

以下の既存公共交通サービス利用者を調査対象とする。

表 3.4　町営バス等利用者調査の対象

公共交通サービス	調査対象者
町営バス（伊野循環線）	バス利用者
定時制デマンド式乗合タクシー	タクシー利用者
スクールバス（一般混乗）	一般のバス利用者

2）調査の視点

以下の点を視点に調査を実施する。

【 調査の視点 】

○既存の公共交通サービスに関する満足度、改善点を把握する。

（3）調査の実施概要

1）調査規模・方法

町営バス等利用者調査の規模・方法については、以下のとおりとする。

表 3.5　町営バス等利用者調査の規模・方法（案）

区　分	概　　要
調査対象	各公共交通サービス利用者
調査規模	・町営バス：約 30 人 ・定時制デマンド式乗合タクシー：約 10 人 ・スクールバス：約 10 人
調査方法	運転手による手渡し配布・郵送回収 （町から依頼）

2）調査項目

町営バス等利用者調査のアンケート項目を以下のとおりとする。

表 3.6　町営バス等利用調査のアンケート項目（案）

区　分	調査のねらい	アンケート項目
個人属性	・個人属性の把握	○個人属性 ・性・年齢、職業、住所
	・自動車利用環境の把握	○自動車保有状況 ・免許保有の有無、自動車保有状況
移動実態	・調査時の移動について把握	○移動状況 ・調査時の移動の目的、移動の目的地
	・当該サービスへの依存度を把握	○代替交通手段 ・調査時の移動における代替交通手段の有無
公共交通の施策に関するニーズ	・当該サービスの満足度・改善点を把握	○当該サービスの満足度・改善点 ・調査時利用サービスに対する項目別満足度 ・調査時利用サービスの改善点 ・新たに望まれる公共交通サービス

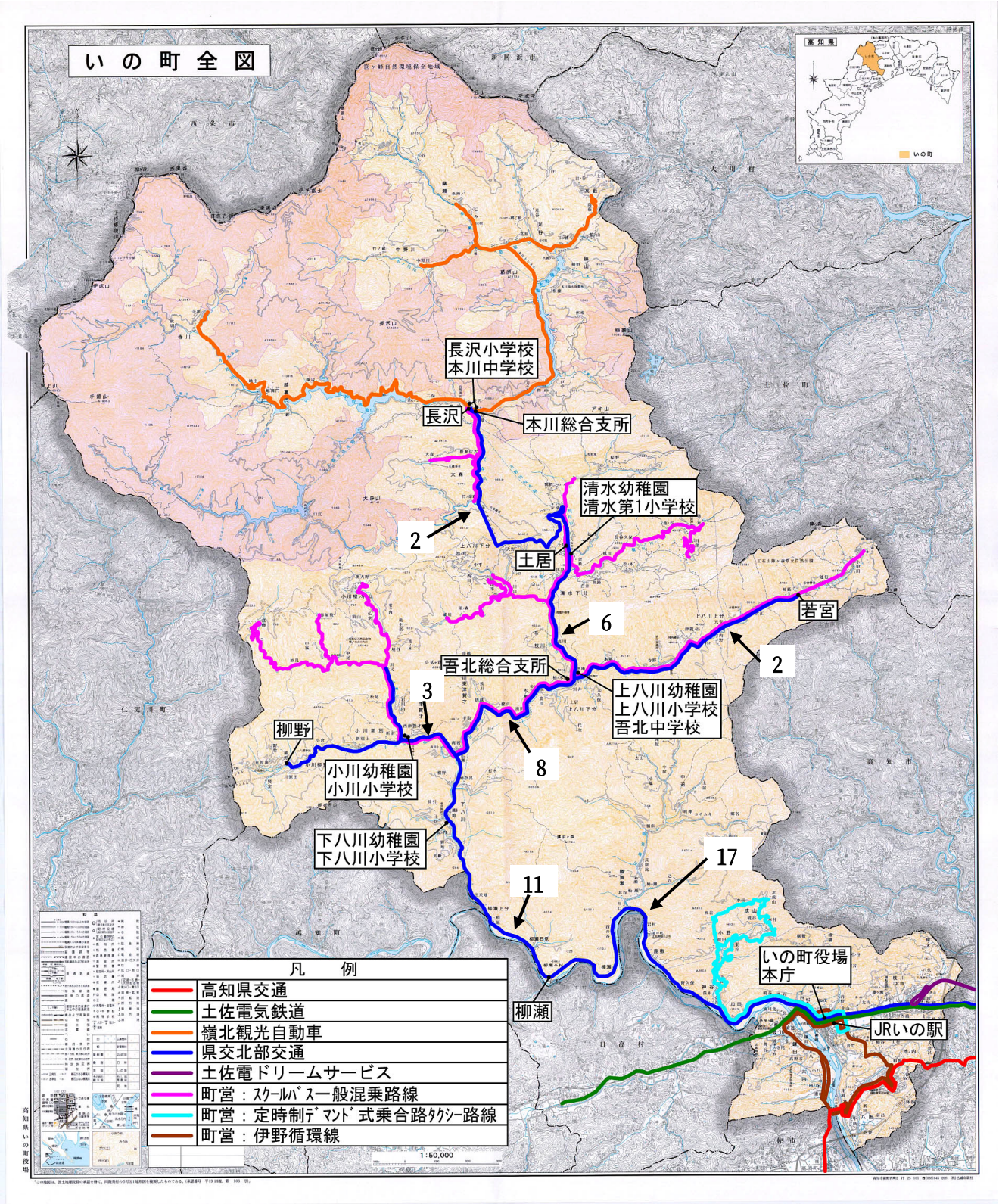
□ 住民ニーズ調査の概要総括

調査種別	調査目的	調査対象	調査の視点	調査規模	調査方法	調査項目（フェイス除く）	
						共通	個別
①町民移動調査	いの町民の移動実態、公共交通サービスに関するニーズの把握	中山間地域の住民 ・伊野地区（中山間地域） ・吾北地区（全域） ・本川地区（全域）	・中山間地域の住民の移動実態を把握するとともに、その中で公共交通が果たす役割、住民生活における位置づけ等を明確にする。 ・高齢者等のモビリティ確保、自動車から公共交通への転換に向けた施策検討のため、住民ニーズを把握する。	2,000	町広報誌に合せて配布、自治会長を通じて回収 ※自治会長の協力を得られない地区は、郵送回収	（公共交通の施策に関するニーズ） ○公共交通の改善点 ・現行サービスに対する項目別満足度 ・バス交通の改善点 ・新たに望まれる公共交通サービス ○費用負担 ・公共交通の必要性 ・住民負担に対する許容度	（移動実態） ○普段の移動状況 ・普段の主な移動 ・上記移動の目的、目的地・施設、利用交通手段・利用理由、頻度、時間帯 ○公共交通非利用の理由 ・公共交通を利用しない理由 ○自動車利用の移動状況 ・自動車利用の具体的形態（自分で運転 or 家族が送迎 or 近隣の知人が運転　等） ・自動車による移動の継続性（今後の見通し） （公共交通の施策に関するニーズ） ○公共交通への転換意向 ・施錯誤との公共交通利用への転換意向
②地域代表へのヒアリング調査	いの町民の公共交通サービスに関するニーズの把握	中山間地域の自治会長、NPO 等	・高齢者等のモビリティ確保、公共交通利用促進に向けた施策検討のため、住民ニーズを把握する。	82 自治会	ワークショップ （10 人程度の 9 グループに分割）		（移動実態） ○普段の移動状況 ・普段の利用交通手段 ○公共交通非利用の理由 ・公共交通を利用しない理由 ○自動車利用の移動状況 ・自動車利用の具体的形態 ・自動車による移動の継続性 ・高齢化が進んだ場合の問題点
③-1 路線バス等利用者調査	公共交通の利用実態、利用者ニーズの把握	・伊野駅以北の廃止代替バス利用者 ・JR 伊野駅、土佐電鉄伊野駅、駅前バス停利用者	・公共交通の利用実態を把握するとともに、利用特性、区間ごとの需要等を明確にする。 ・公共交通のサービス改善に向けた施策検討のため、住民ニーズを把握する。	・廃止代替バスの全便 ・JR 伊野駅約 450 人、土佐電鉄伊野・伊野駅前約 150 人、駅前バス停約 50 人	・廃止代替バスは車両に乗り込み、聞き取り ・伊野駅、駅前バス停は乗降者に手渡し配布・郵送回収		（移動実態） ○移動実態 ・調査時の移動の目的、ＯＤ、発・着時間、アクセス・イグレス手段、時間 ・調査時の利用手段利用理由 ・乗降バス停 ○普段の移動手段 ・調査時の移動における代替交通手段の有無 ・普段の移動での交通手段
③-2 町営バス等利用者調査	既存の公共交通サービスの満足度の把握	町営バス、定時制デマンド式乗合タクシー、スクールバス利用者	・既存の公共交通サービスに関する満足度、改善点を把握する。	町営バス約 30 人、定時制デマンド式乗合タクシー約 10 人、スクールバス約 10 人	運転手による手渡し配布・郵送回収		（移動実態） ○移動状況 ・調査時の移動の目的、移動の目的地 ○代替交通手段 ・調査時の移動における代替交通手段の有無

□ 実態調査スケジュール

項目 ＼ 月・日		8月				9月					10月				11月				12月				
		1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	5週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	5週
住民ニーズ調査	1. 町民移動調査		計画書（案）（事前配布）作成					計画書、調査票修正															
	・調査企画		調査票(案)（当日配布）作成	→		→					→												
	・サンプル抽出						→		→														
	・配布・回収											→											
	・データ入力・集計														→								
	2. 地域代表者へのヒアリング調査																						
	・調査企画		計画書（案）（事前配布）作成	→		→	計画書修正・ヒアリングシート作成				→												
	・ヒアリング調査											→											
	・データ入力・集計												→										
	3. 公共交通利用者実態アンケート調査																						
	①路線バス等利用者調査		計画書（案）（事前配布）作成																				
	・調査企画		調査票(案)（当日配布）作成	→		→		計画書、調査票修正			→												
	・配布・回収						→		→			→											
	・データ入力・集計														→								
	②町営バス等利用者調査		計画書（案）（事前配布）作成																				
	・調査企画		調査票(案)（当日配布）作成	→		→		計画書、調査票修正			→												
	・配布・回収						→		→			→											
	・データ入力・集計														→								
協議会						○					○										○		
打合せ				○					○							○			○				

○ 資料－１：いの町バス路線図



※図中の数字は県交北部交通のバス運行本数（平日/片道）
（火・木曜日は土居止まりの１便が長沢まで運行）

○ 資料－２：第３回高知都市圏パーソントリップ調査（H19 実態調査）　調査票（平日）

・調査票を次頁に示す（平日、休日とも同一）

・以下のような項目が把握されている。

・外出の有無
・どこからどこへ、何時ごろ、どのような目的で移動したか
・その際の交通手段は何を利用したか
等

総務省届出済み

第３回高知都市圏パーソントリップ調査

(秘)交通実態調査票　平日

この調査は、将来の交通計画や、南海地震への防災対策など、まちづくりを検討するための基礎資料を得ることを目的に行うものです。調査票に記入された内容は、個人情報保護の観点から厳重に取り扱います。

【調査主体】高知県
【調査対象地域】高知市、南国市、土佐市、香南市、香美市、いの町、春野町、佐川町、日高村

ゾーン	世帯	人数	個人番号

5歳以上（平成19年11月1日現在）の方一人ひとりが、それぞれの調査票に記入して下さい。

あなたの調査日は

平成19年 11 月 13 日 火 曜日

記入上のお願い

- 「あなたご自身のこと（性別・年齢・職業など）」と「あなたの平日一日の行動」について、それぞれ記入してください。
- 回答は、黒のボールペンか鉛筆で 1 から番号順に　の部分（回答欄）に記入してください。
- 回答欄に番号がある場合は、該当する番号を○で囲んで下さい。
- 午前３時から翌日午前３時までの移動について記入して下さい。

あなたご自身のことについて記入して下さい
(1)～(5)についてご記入下さい

(1) 性別　男・女　(2) 年齢　　歳　(3) 普通自動車の免許　有・無　(4) 世帯にある乗用車　　台 ・ 貨物車　　台

(5) 職業
●職業をお持ちの方
1. 農林漁業　2. 鉱業　3. 建設業　4. 製造業　5. 卸売業　6. 小売業　7. 金融・保険・不動産業
8. 運輸・通信業　9. 電気・ガス・水道業　10. サービス業（公務員含む）　11. その他

●職業をお持ちでない方
11. 中学生以下（生徒・児童・園児など）　12. 高校以上の学生　13. 主婦・主夫（職業従事者を除く）　14. 無職　15. その他

1 この日どこかに移動しましたか　1. 移動した　2. 移動しなかった　→ うら面の 休日 調査票へ

2 1日のはじめにいた場所

1. 自宅
2. 自宅以外

↓「自宅以外」の場合は、【所在地】または【建物又は施設等の名称】をご記入ください。
【所在地】　市町村　　町　丁目
【建物又は施設等の名称】
①施設の種類は

◎次の目的地への出発時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分

3 この間の移動について

②移動の目的は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. あなた以外の同行者　人
③交通手段は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.
（この間の移動に利用した交通手段すべてに○を付けてください）
④公共交通の主な乗換場所は
③乗換前後の公共交通手段は
乗換前 11. 12. 13. 14
乗換後 11. 12. 13. 14.

4 1番目に行った場所（1つ目の目的地）

◎この目的地への到着時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分
1. 自宅
2. 自宅以外
↓「自宅以外」の場合は、【所在地】または【建物又は施設等の名称】をご記入ください。
【所在地】　市町村　　町　丁目
【建物又は施設等の名称】
①施設の種類は
◎次の目的地への出発時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分

5 この間の移動について

②移動の目的は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. あなた以外の同行者　人
③交通手段は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.
（この間の移動に利用した交通手段すべてに○を付けてください）
④公共交通の主な乗換場所は
③乗換前後の公共交通手段は
乗換前 11. 12. 13. 14.
乗換後 11. 12. 13. 14.

6 2番目に行った場所（2つ目の目的地）

◎この目的地への到着時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分
1. 自宅
2. 自宅以外
↓「自宅以外」の場合は、【所在地】または【建物又は施設等の名称】をご記入ください。
【所在地】　市町村　　町　丁目
【建物又は施設等の名称】
①施設の種類は
◎次の目的地への出発時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分

7 この間の移動について

②移動の目的は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. あなた以外の同行者　人
③交通手段は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.
（この間の移動に利用した交通手段すべてに○を付けてください）
④公共交通の主な乗換場所は
③乗換前後の公共交通手段は
乗換前 11. 12. 13. 14.
乗換後 11. 12. 13. 14.

8 3番目に行った場所（3つ目の目的地）

◎この目的地への到着時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分
1. 自宅
2. 自宅以外
↓「自宅以外」の場合は、【所在地】または【建物又は施設等の名称】をご記入ください。
【所在地】　市町村　　町　丁目
【建物又は施設等の名称】
①施設の種類は
◎次の目的地への出発時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分

9 この間の移動について

②移動の目的は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. あなた以外の同行者　人
③交通手段は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.
（この間の移動に利用した交通手段すべてに○を付けてください）
④公共交通の主な乗換場所は
③乗換前後の公共交通手段は
乗換前 11. 12. 13. 14.
乗換後 11. 12. 13. 14.

10 4番目に行った場所（4つ目の目的地）

◎この目的地への到着時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分
1. 自宅
2. 自宅以外
↓「自宅以外」の場合は、【所在地】または【建物又は施設等の名称】をご記入ください。
【所在地】　市町村　　町　丁目
【建物又は施設等の名称】
①施設の種類は
◎次の目的地への出発時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分

11 この間の移動について

②移動の目的は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. あなた以外の同行者　人
③交通手段は 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.
（この間の移動に利用した交通手段すべてに○を付けてください）
④公共交通の主な乗換場所は
③乗換前後の公共交通手段は
乗換前 11. 12. 13. 14.
乗換後 11. 12. 13. 14.

12 5番目に行った場所（5つ目の目的地）

◎この目的地への到着時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分
1. 自宅
2. 自宅以外
↓「自宅以外」の場合は、【所在地】または【建物又は施設等の名称】をご記入ください。
【所在地】　市町村　　町　丁目
【建物又は施設等の名称】
①施設の種類は
◎次の目的地への出発時刻は 1. 午前 2. 午後　時　分

① 施設の種類は

1. 住宅・寮
2. 学校・教育施設・研究施設（幼稚園含む）
3. 文化・宗教施設
4. 医療厚生福祉施設（保育園・託児所含む）
5. 事務所・会社・銀行
6. 官公庁
7. 個人商店・コンビニ
8. スーパー、デパート、ショッピングセンター
9. その他の商業施設（問屋・卸売市場含む）
10. 飲食店
11. 宿泊施設
12. 娯楽施設
13. 工場・作業所
14. 駅・空港・バスターミナル（送迎・貨物など）
15. 倉庫・物流ターミナル
16. 公園・緑地
17. 体育・レクリエーション施設
18. その他の施設

② 移動の目的は

1. 勤務先へ（帰社を含む）
2. 通学・通園先へ（帰校を含む）
3. 自宅へ
4. 買物へ
5. 私用へ（買物を除く）
6. 送迎へ
7. 業務先へ

③ 交通手段は

1. 徒歩
2. 自転車
3. オートバイ・原付
4. タクシー・ハイヤー
5. 代行運転サービス
6. 乗用車（自分で運転）
7. 乗用車（5. 以外の同乗）
8. 貨物車（自分で運転）
9. 貨物車（5. 以外の同乗）
10. 送迎バス（福祉バス含む）
11. 路線バス
12. 路面電車
13. 鉄道
14. その他

④公共交通の主な乗換場所

公共交通間で乗換えた場合（鉄道⇒バス、鉄道⇒路面電車、バス⇒バスなど）、その乗換場所（駅名・バス停名・電停名）のご記入と、乗換前後の交通手段を「③交通手段は」より選択して下さい。

うら面の 休日 調査票にも記入して下さい

13 6回以上移動した方は回数を記入して下さい

上記に記入した回数を含めて　回移動した